

2007 年度 春学期のレポート

タイトル: 2007 年 2 学期(01 月 16 日~4 月 30 日)レポート

ファイル名: 名前 春日 幸三 2 学期レポート

【1 学期を振り返って】

今学期は特別選択で E L I (English Language Institute) の英語クラスと選択科目を受講し、インターンシップやワークショップなどにおいて今学期間学んだ事をレポートにまとめたと思います。

まずは、

【生活面】

秋季時期から継続で、CARLIN寮 402 号室から移らずに暮らしていました。

402 号室は、ほとんどの学生達に入れ替わり、全てアジア人になっていました。

同じアジア人ではあっても、文化は様々に異なっていましたが、トラブルはありませんでした。

しかし、男子ばかりでしたから、女性達の部屋より汚い面もありました。

風呂場は風呂釜がないので、寒い日はシャワーからあがると凄く寒かったです。それに乾燥の問題もあり大変な体験をしました。

【クラス】

春季クラスがスタートする前に、IIP 担当者と相談した結果により、春季クラスは午前中のクラス科目を受講し、午後からはインターンシップの時間を空けておく計画を立てました。

● 午前のクラスは

E L I の英語クラスは、秋季クラスで行った能力テスト試験の結果により、100-01A クラスへ移行して始まりました。

1 ヶ月間位英語を学んでいましたが、教師の教え方に問題があり、コミュニケーションクラスも重なっている為、1 週間の配分は月水金の 3 日分は英語の学習、火木はコミュニケーションのクラスを受けました。その為の移動が忙しかったです。毎週末には英語の試験がありましたが、ゆっくり英語の勉強が出来ない状態だった為に試験は大変でした。試験の結果により、秋季クラスで学んだ 100-01B クラスと両方で学ぶ事になりました。

週末試験も対象外になりました。

コミュニケーションクラス

ここに来る目的の一つであった、会社と地域の健聴者とのコミュニケーションと、人間関係における問題を解決する方法を学ぶ事です。

コミュニケーションクラスは絶対に受けたいとのが気持ちが強かったので、教授とお互いに納得するまで話し合いをしながら、良い方法を模索し、教授が真剣に考えて下さり、OK のサインを頂きました。

何故受講するのが困難だったのかというと、4 年生のレベルである事と、さらに英語でのコミュニケーション能力も必要であり、受講が難しいのではとの心配からでした。

タッチ、近接のルール、タイム、職場の非コミュニケーションなどを色々学びながら、ビデオ視覧、ゲームで研究、顔の表情でのゲームの研究などを実際に行いました。

その中で、コミュニケーションには人間が本来持っている自然なルールがあった事を学びました。

心理クラスも受けるつもりでしたが、秋季クラスの時に入門コースを受講していないと、春季クラスは受けられないという結果になり、学ぶ事が出来ずに本当に残念でした。

結局、コミュニケーションクラス、E L I 英語（100-01A&B）クラスの2つで学ぶ事になりましたが、英語の学習において英語のレベルアップが上手く出来ない為、またコミュニケーションクラスのプロジェクトや個別研究などに集中したい為、3月31日にて英語クラスから降りました。

● 午後のクラスは

インターンシップで受ける為に時間を空けておきましたが、結局は春季時期で1つも受けられなかった事は残念でした。

どうしたら良いのか質問しても、「私の担当ではない!」「事業責任者に連絡した」などと言われるだけで、私としてはどっちに相談すればよいのかわからなくなってしまいました。

I I Pの担当者と事業責任者の間においても、もきちんとコミュニケーションしながら進めて欲しかったと思います。

私は、両者と揉めるより、スムーズにコミュニケーションが出来て、希望通りに学びたかったと思います。インターンシップや学習、研究に集中したかったと心残りです。

インターンシップは、もう受ける事は不可能と知った時、次のいい方法を考え始めました。

現場でアルバイトで働きながら、色々な体験をしたら良い勉強になるのではないかと気が付いたので

その日からアルバイトを探し回った結果、カフェテリアで働く事になりました。ろう者と健聴者も社員として一緒に働いていました。

以前の社員は健聴者のみであったそうですが、去年からろう者の募集を始めたそうです。しかし健聴者とろう者が、お互いにスムーズなコミュニケーションが取れない事がわかりました。

日本での私の会社も、同じ問題が起きており内容が似ていました。

日本との違いが1つありました。マネージャーは聾者でしたが、トラブルがあっても双方を説得し理解しあって、すぐに解決した事です。

アメリカの仕事を体験した事はとても良かったと思っています。

春季クラスの時間割							1/31/2007	現在
	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday	
8:00	8:00~9:00	8:00~9:00	8:00~9:00	8:00~9:00	8:00~9:00	インターンシップ		
8:30	100-B	100-B	100-B	100-B	100-B			
9:00	9:00~11:50	English	9:00~11:50	English	9:00~11:50			
9:30	100-A	9:30~11:00	100-A	9:30~11:00	100-A			
10:00	English	COM	English	COM	English			
10:30		420		420				
11:00		11:00~11:50		11:00~11:50				
11:30		100-A		100-A				
12:00	昼食	12:00~13:00	昼食	昼食	昼食			
12:30		特別学習						
13:00	インターンシップ	1対1学習	インターンシップ	13:00~15:00	インターンシップ			
13:30		INT 780		特別学習				
14:00		14:00~15:00						
14:30		特別学習						
15:00		インターンシップ		インターンシップ				
15:30								
16:00								
16:30								
17:00								
17:30								

【ワークショップ】

2月15日から17日まで、NJ地区のろう手話通訳の研修（基礎編）に参加しました。ろう手話通訳養成プログラムはありませんでしたが、アメリカ流の指導は経験が豊かである事を知りました。

課題点としては、ろう者は友達との会話ではASLを使うのに、講演や通訳する時には何故か英語対応手話になってしまうのです。また、ろう者が通訳する時に、英語文からASLに変換して通訳すると記憶力やイメージ力が低下してしまう事を感じました。上達するには基本から練習しなければならないと感じました。

私も東京都聴覚障害者連盟内で、ろう手話通訳の練習をしましたが、やはり同じ経験をした事があります。

アメリカ人は国際手話と言う言葉を知らない人が多くて、驚きました。

通訳の練習内容や言語に関して、充実して学ぶ事の出来た3日間でした。

【その他】

時間が空いた所は、以前学習を受けた秋季クラスの教授に予約して、個人的な学習を行いました。各クラスのほとんどの教授から、学習を纏めた結果にOKのサインを頂きましたので、ほぼ完了しました。

現在でも英語は読めませんが、教師達が個別学習時間を用意してくださって、最後まで一緒に教えて頂いた事をととても感謝しています。（他の外国学生からは、教授は態度が冷たい、講義の内容がまとまっていないなどの苦情を聞いていますが、私の見る目が正解だったかもしれません。）

【終わりに】

インターンシップは除いて、私が希望した学習選択を計画通りに色々学んできました。

ただ、インターンシップの問題だけが残念でした。

ろう者の言語とコミュニケーションについて学べた事は、とても有意機でした。

帰国後、私の会社における健聴者の方々とのコミュニケーション方法が、以前より良くなるように考えて行きたいと思います。

私が勤めている会社の方も真剣に取り組んで頂けたら、嬉しいと思います。